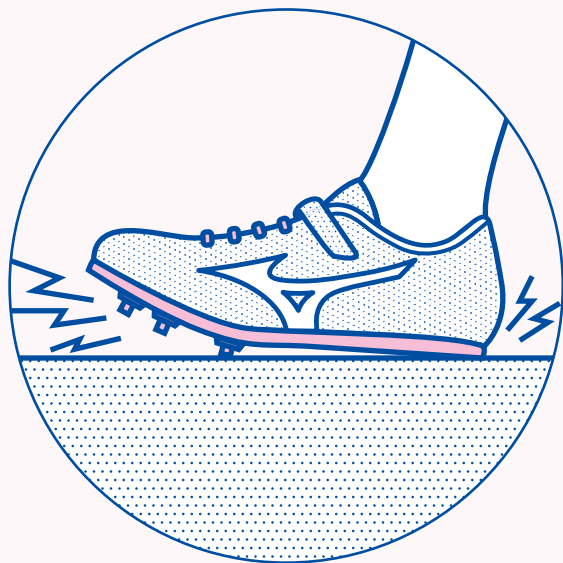


# 長持ちのコツ

## コンクリートの上を歩かないように



### コンクリートを歩く最も多い機会は、試合会場。

試合会場となっている“ゴムのトラック”の外側の通路は、だいたいコンクリート。

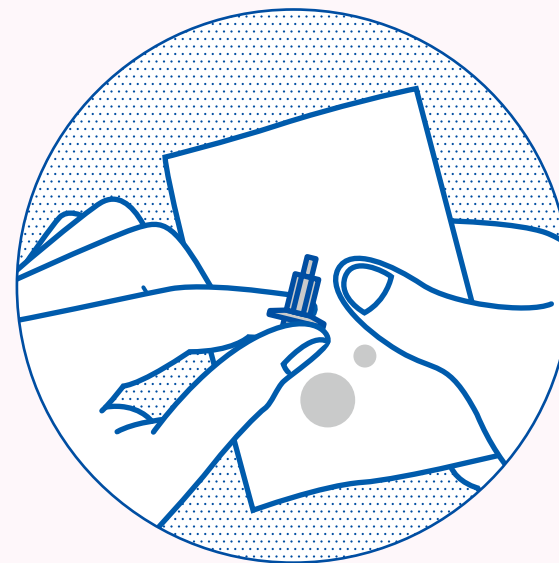


この上をスパイクで歩くと、金属でできているスパイクピンでさえアツという間に減ってしまいます。試合が終わったらスパイクをぬぐか、またはスパイクピンやプレートが減らないように気をつけて歩くようにしましょう。

### ! コンクリートの上を歩くと早く減ってしまうパーツ

●アタッチメント ●スパイクピン ●プレート ●ゴムでできているソール

## 濡れたらふこう



スパイクが濡れたら、スパイクピンは取り外してしっかりふいて保管しましょう。ネジ穴もふきましょう。

### ! スパイクピンは、濡れたまま干してしまうとサビついてしまいます

スパイクピンをスパイクに取りつけたままサビつかせてしまうと、スパイクから取りはずすことができなくなってしまいます。ネジ穴も金属製です。サビてしまったらスパイクピンが入らなくなってしまいます。ここも忘れずにお手入れしましょう。